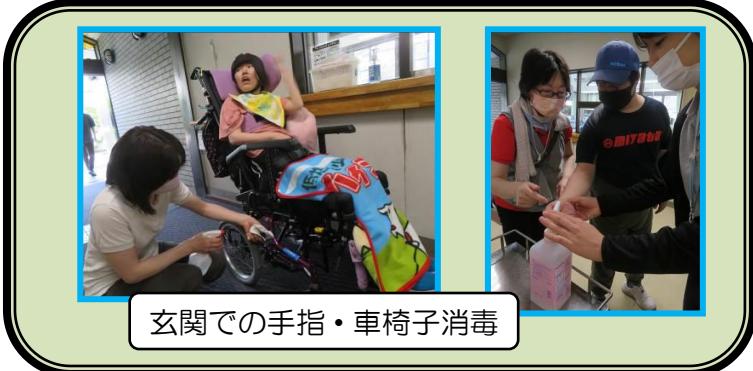


コロナ対策について

新型コロナウィルス感染症が収まらない中、インフルエンザの流行も心配される季節になってきました。福祉園では昨年に引き続き、感染症対策に努めてまいりました。施設に入る際の手指消毒はもちろんのこと、車椅子の取っ手やブレーキなどの消毒、いざという時の為の防護服着脱訓練、繰り返しの手洗い研修など、例年より時間をかけて丁寧に行ってています。利用者の方々、そしてご家族の皆様もいろいろと不安な思いをされている事と存じますが、これからも一緒に感染症に強い施設づくりをしていきたいと思っています。

改めて、うがい・手洗い・消毒・換気・バランスの良い食事を摂って体力をつけておく・密を避ける等の基本の予防法を思い起こし、感染症対策を続けていきましょう。

(記：小林)



古紙回収

神明福祉園では毎週月曜日に施設隣接地域のご理解・ご協力のもと（神明南地域の一部、辰沼地域の一部）古紙回収活動を行っています。利用者の方々に地域の事を知っていただきたい、地域の皆様にもっと福祉園の事を知っていただきたい、もっともっと社会生活に参加していきたい、との思いから続けさせていただいている。回収している物は、新聞・雑誌・アルミ缶です。回収した物は業者に引き渡し、得た収入で、ご協力を頂いた地域への還元として、これまでゴミ袋やポケットティッシュの配布をさせていただきました。「頑張ってね」と声を掛けられた時、利用者の方も笑顔になり、リヤカーを引く力が強くなっていました。頑張った利用者の方々には年度末にお疲れ様イベントとして還元行事を行っています。

また、秋から冬にかけてご協力いただいた皆様へ地域還元も計画しております。

天候不良時にお伺い出来ない日もありますが、緑の旗を掲げて頑張っていきますので、今後ともご協力の程、宜しくお願い致します。

(記：熊田)



※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。
(広報担当：神野・熊田・佐藤・宮路・石井)



統括主任から

日ごろより、神明福祉園の運営にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年は秋の訪れも早く、8月の終わりとともに、ガラッと秋の空気に入れ替わり、過ごしやすい陽気となりましたね。

さて、神明福祉園にも含まれる『福祉』という言葉、皆さんどんなイメージを持ちますか。

『福』も『祉』も、どちらも“しあわせ”を意味し、“社会全体のしあわせ”を意味する言葉でもあります。どんなことが“しあわせ”を感じるかは人それぞれだと思いますので、『福祉』のイメージも十人十色かもしれません。

神明に来る前に従事していたショートステイでは、主介護者の急病などの緊急的な利用も時折あり、中には自宅に戻れず遠方での施設入所が決まり、選択の余地もないまま、次なる生活の場へ向かう方を何人も見送らせていただきました。

複雑な心境の方を目の前に、お話を伺うか見送ることしかできない歯がゆさを感じつつ、その方にとてのしあわせな暮らしって本当は何だろう、望む暮らし方に近づけるために何ができるのだろう…と、毎回のように考えていました。

将来望む暮らし方は人それですが、今できることから少しずつでも考え方行動することは、今の生活が続けられなくなったその時、選択肢が増えることになります。もしくは望む形に近い暮らしを送れるかもしれません。

『福祉』というのは、それが思い描く“しあわせ”な人生を送れるよう、社会全体で受け止めながら支えあう仕組みだと私は考えます。そしてその仕組みの一つとして私たち支援員は従事しています。

福祉園の理念『安心・安全・楽しい福祉園』には“社会性を高める”“自己選択する力を養う”という基本方針が込められています。理念の実現が利用者の皆さんのが将来に少しでも繋がるよう、これからも職員一丸となり、お気持ちに寄り添い、将来も見据えながら、日々真剣に支援させていただきます。今後ともよろしくお願ひ致します。

N.O. 168

令和3年10月22日発行
発行者：神明福祉園
発行責任者：照井智幸
住所：〒121-0057
足立区神明南2-6-18
神明障がい福祉施設内
電話：03-5682-5370
FAX：03-5682-5665



お知らせ ~information~

★内部研修

- 10月28日(木) 感染症研修
- 11月25日(木) 救命救急研修
- 12月6日(月) リスクマネジメント研修



★防犯・防災訓練

- 10月28日(木) 全体避難訓練

★施設内行事

- 11月26日(金) 福祉園全体連絡会



福祉園の夏

今年も新型コロナウイルス感染防止の為、各グループでは工夫を凝らしながら夏を感じられる活動を企画し、実施しました。

1グループでは、屋上水遊びを行いました。夏真っ盛りの日に、テントを張った屋上でビニールプールを2つ設置。手足を入れて水の感触を楽しむ方、プールの中に入り全身で楽しむ方など、様々な方法で参加されています。また、水鉄砲やシャワーホースを使ってお互いに水を掛け合うと大きな歓声が上がり、大盛り上がりの1日でした！

2グループでは、1グループと合同で『君と夏フェス』のイベントを行いました。フェスTシャツやリストバンド、花冠やサングラスなど、それぞれお好きなグッズを着用して参加されています。メインイベントの支援員によるダンスや、『かぼす』と『たべものがかり』による弾き語りが始まると、皆さん笑顔になりノリノリで音楽を楽しみました♪

3グループでは、かき氷作りを行っています。いちごとメロンのシロップを用意し、お好きな方を選んでいただくとメロンが人気の様子でした。ご自分で削ったかき氷を口にすると、沢山頬張ってしまい「キーン」とした表情の方など、冷たさの中に夏を感じられているようでした。

4グループでは、毎年恒例の夏野菜を収穫しての調理活動やスイカ割りを行いました。調理活動では、ナスとピーマンを使って簡単ピザ作りをしました。餃子の皮にピザソースを塗り、夏野菜とチーズをたっぷり載せ、トースターで焼いたら完成！出来立てを召し上がっています。また、スイカ割りではスイカに向かって一直線！小玉ながらも甘~いスイカを、皆さん美味しいように召し上がってきました。

今後も色々なアイディアを出し合い、工夫を凝らすことで、新しい生活様式の中でも楽しみながら季節を感じられる活動を行っていきたいと思います。

(記：神野)



わくわくイベント 「夏の夜のわくわく～光と音の記憶～」

今年度は新型コロナウイルス情勢を踏まえて、感染対策を行いながら展示企画を開催しました。「夏の夜のわくわく～光と音の記憶～」をテーマに蛍の杜、自然の音色、月夜の影絵をホールに展示しながら癒しの空間を演出しました。蛍の杜ではライトを使って蛍が一面にいるようにして見ながら楽しみ、自然の音色では蛍の鳴き声や川のせせらぎの音楽を流しながら自然の中にいるような演出をしました。また月夜の影絵では、スクリーンに影絵を映しながらクイズ形式して楽しみながら参加できる企画も用意。暗い部屋だった為か最初はおそるおそる入られる利用者の方もいましたが、暗闇に慣れてくると笑顔が多く見られ、各自で楽しみながらご覧になられていたようでした。

12月頃にもイベントの企画を予定しています。楽しみにお待ちください。

(記：酒井)



クラブ活動が始まりました！！



今年度7月より、新たにクラブ活動が始まりました。クラブ活動を始めるにあたって、皆さんからクラブ名を募った結果、音楽クラブは『かなで～る』、運動クラブは『うごけ～る』に決定しました！どちらの活動も感染防止対策の為、少人数で実施しています。

『かなで～る』では、カラオケを行いました。少人数で時間にゆとりがある為、皆さんお好きな曲を沢山歌ったり、次第に熱が入り後半は立ち上がって熱唱する方もいらっしゃいました♪

『うごけ～る』では、チーム対抗戦でボッチャを行いました。赤ボール・青ボールそれぞれの一投にタンバリンや鈴を手に応援する様子が見られ、優勝チームには金メダルならぬトロフィーが贈られるなど、少人数ながらもパラリンピックさながらの盛り上がりが見られました☆

下半期では、プロジェクターやレーザーライトを使用してのディスコ風ダンス活動やボウリングを企画しています。楽しみにしていてください！！

(記：石井)

